

令和2年度

施政方針

南関町

令和 2 年 第 1 回南関町議会定例会の開会に当たり、令和元年度補正予算案、令和 2 年度当初予算案、その他諸議案のご審議をお願いいたしますとともに、施政方針を申し述べ、議員の皆様並びに町民の皆様に一層のご理解とご協力をお願い申し上げる次第であります。

昨年は、梅雨時期の集中豪雨や相次いで発生した台風などにより全国的に災害が多い年で、私たちの南関町でも梅雨末期の集中豪雨により災害が発生した年でありました。

今年に入りましてからは、比較的安定した天候が続いておりますが、今年こそは、災害がない穏やかな年として、町民の皆様方が安全・安心に暮らしていただけるような 1 年になってほしいと願いますとともに、常日頃からの危機管理体制の確立が重要なことを改めて肝に銘じておかなければならないと考えているところであります。

本年は、いよいよ東京オリンピック・パラリンピックが開催される記念すべき年でもあり、開催地のみに限らず、私たちの町でも元気が出るような取り組みをしていかなければならないと思います。

ここで皆様に 2 月 17 日に発表された嬉しいニュースを紹介します。

8 月 25 日（火）から 9 月 6 日（日）まで千葉市の幕張メッセで開催される東京 2020 パラリンピック・ゴールボール競技に南関町出身の浦田理恵さんが 4 大会連続となる出場が内定しました。

南関町町民栄誉賞第 1 号の浦田理恵さんの活躍を誇りに思うとともに、町を挙げて応援をしていきたいと考えておりますので、皆様方のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

このような中、世界中を不安にしているのが、中国湖北省の武漢で発生し全世界に感染が広まっている新型コロナウイルスであり、全世界では既に 10 万人を超える方が感染し、3,500 人程の方が亡くなっており、日本においても、500 人近い方が感染し、6 人の方が亡くなるとともに、企業活動の停止や株価の急落など、世界経済にも大きな影響がはじめております。

また、2 月末までに熊本県内でも既に 5 人の方が感染され、各種行事が中止又は延期となり、小中学校や高校の卒業式が一部の方の参加になると、2 月 27（木）には、安倍首相本人により全国すべての小中高校・支援学校の 3 月 2 日（月）から春休みまでの臨時休校が要請されるなど、日を迫うごとに厳しさが増しており、3 月 4 日（水）には、ついに有明保健所管内で 1 人の感染が確認されたところであります。

国では、新型コロナウイルスに対応する新型インフルエンザ対策特別措置法改正案が今月 13 日に成立する見通しではありますが、いまだに先が見通せないのが現状であります。

本町においても、2 月 22 日（土）午前 8 時に新型コロナウイルスに対する対策本部を設置しての対応を図っておりますが、3 月 7・8 日（土・日）に開催予定でありました古小岱の里陶器・梅まつり及び 4 月 29 日

(昭和の日)に計画しておりました関所健康マラソン大会の中止を既に決定し、3月2日(月)からは、町内の小中学校5校を臨時休校とするとともに、ほとんどの町関係施設も利用停止や臨時休館としている状況であります。

児童生徒への対応としては、放課後児童クラブの午前からの開設など、できる限りの支援を行うこととしております。

まつりやマラソン大会を楽しみにされておられた方には申し訳ございませんが、皆様方の安全・安心を第一に考えた結果での判断でありますので、お許しをいただきたいと存じます。

次回のご来場・ご参加を心からお待ちいたしますとともに、新型コロナウイルスの一日も早い終息を願うところであります。

国においては、通常国会の会期中であります。新年度予算も既に衆議院では通過しており、一般会計の総額は、高齢化社会による医療費の増や消費税引き上げに伴う景気対策などの社会保障費の増加等により、前年度比1.2%増の102兆6,580億円と8年連続で過去最高を更新し、2年連続で100兆円の大台を突破しました。

歳入では、消費税増税による増収分を反映し、税収は10年連続増を見込み、新規国債の発行額も昨年度同様30兆円台に抑え、10年連続で減額されました。

歳出では、全世代型の社会保障制度への充実に向けた施策に重点配分されております。

地方税収入については、1.9%増の40兆9,366億円を見込み、不足分を補う地方交付税は、自治体への配分額が2.5%増の16兆5,882億円となっています。

また、一億総活躍社会の実現に向けた地方創生のための、まち・ひと・しごと創生事業費は、第2期を迎える今年度も引き続き1兆円が確保されることとなりますので、本町においても、町の特色を活かした事業の展開を継続していく必要があります。

このような中で、本町の人口は減少を続けており、本年2月末の高齢化率も38.6%となっておりますが、町の継続的な発展のためには、行財政改革による無駄の排除、更なる自主財源の確保に努めなければなりません。

特に、今年度も国全体の地方交付税配分額の大きな増が見込めないため、柔軟に対応できる財政構造の構築と、中・長期的な計画を見据えた事業の展開が必要となります。

厳しい状況が続くこととなりますが、地域住民の皆様方が安全安心で心豊かに暮らせるような質の高い行政運営を行っていくことは、行政の責務であり、信頼される自治体として、分権時代にふさわしい行政サービスの提供に努めていきたいと考えております。

本年度は、消費税が引き上げられたことや新型コロナウイルスによる

経済への影響も想定され、国県の動き等も把握しにくい状況でもあるため、柔軟かつ弾力的に対応しつつ、最小の経費で最大の効果を上げることができるような事業を推進するとともに、住民福祉の向上に努めて参ります。

さて、町においては、令和2年度から第2期となる「南関町まち・ひと・しごと創生総合戦略」および「南関町人口ビジョン」がスタートすることになります。

総合戦略では、「若い世代の就労・結婚・子育ての希望を実現」、「東京一極集中の歯止め」や「地域の特性に即した地域課題の解決」の3つの視点を基本に魅力あふれる地方の創成を目指すこととしています。

また、2060年の将来人口展望を6,000人としており、かなり高いハードルとなりますが、合計特殊出生率及び社会増減の改善等により、人口減少に歯止めをかけることとしています。

そのためには、地域住民、各種団体、行政が一体となった「チーム南関」で支え合い、誰もが住みやすいまちづくりを目指していかなければなりません。

これからも、議員の皆様、町民の皆様お一人お一人の力をお貸しいただきながら、その実現に向けて頑張ってお参る所存であります。

そこで、今回ご提案申しあげております令和2年度一般会計予算でございますが、歳出全般にわたり細部までの検討を行い、経営の効率化、コストの削減を念頭におきながら歳出の抑制と重点化に努め、目的に沿った費用対効果を重視し、重要政策課題に重点を置いた編成を行ったところであります。

令和2年度南関町一般会計予算の総額は、6,941,428千円で、昨年度と比較しますと、348,590千円の減額で、4.8%のマイナスとなっております。

減額となりました主な要因は、前年度の入札で不調となった庁舎等建設費を令和3年度までの債務負担とし、令和3年度に9億円余りを計上することとしたため減となったものであります。

その他の議案の提出については、条例の制定についてが1件、条例の一部を改正する条例の制定が7件、条例を廃止する条例の制定についてが2件、令和元年度一般会計補正予算のほか各特別会計の補正予算が6件、令和2年度の各特別会計予算が6件、工事請負契約の変更についてが1件、南関町・和水町火葬事務の委託に関する規約の制定についてが1件を提案しています。

ご審議のうえ、ご承認賜われますようお願い申し上げます。

それでは、令和2年度の主要な施策について申し上げます。

まず、総務課関係では、今後一層の行政事務の効率化、事業の見直しを行うとともに、人事評価制度の適正な運用等による職員の意識改革、能力向上を図り、これまで以上に住民から信頼される町・職員となれるよう取り組んで参ります。

また、一般職員の適正な定数管理とともに、令和2年度から始まる会計年度任用職員制度の適切な運用による人材確保を図ります。

財政運営については、庁舎建設や行政無線のデジタル化等により近年では、最も厳しい財政運営になる見込みであります。

特に、令和4年度までの3年間は重要な時期であり、事業の必要性を精査し、効率的・効果的な執行はもちろん、中長期的な計画に基づいた財政運営に努めていかなければならないと考えています。

区長制度については、令和2年度から新たな有償ボランティアでの区長制度へのスムーズな移行を図るとともに、引き続き行政区の統合へのご理解をいただきながら、住民相互で支え合えるまちづくりを推進していきたいと思っております。

防災関係では、多発する災害等に負けない強靱なまちづくりの実現のため、計画的な消防設備等の更新を行い、住民の安全・安心確保となる防災対策、情報伝達手段の確保について、令和元年度の実施設計を基に、庁舎建設の進捗を見ながら、行政無線デジタル化の整備を進めるとともに、より確実な情報伝達システムの整備に取り組めます。

ふるさと応援寄附金については、令和元年度の寄附件数がこれまでの2倍を超える中で、寄附額も既に1億4,800万円を超え過去最高額となりましたが、更に取り組みを強化し、寄附者の意向等をより反映できるよう、また、長期的な活用ができるように取り組んで参ります。

また、有明消防署南関分署の新庁舎建設については、令和2年度からの建設に向け、建設候補地選定委員会が設置され、新たに基幹分署となる計画と併せて、有消本部との協議を進めていくこととなります。

次に、まちづくり課関係では、新庁舎等の建設工事を進めており、既に、健康ふれあい広場、防災広場、防災拠点センター、避難者用駐車場などは完成しており、進入道路等の整備も併せて行っております。

しかし、庁舎建設工事は第1回目の入札が不調となったため、令和2年度予算において、改めて入札手続きを行い、令和3年内での竣工を目指しているところであります。

また、温泉施設を閉鎖した南の関うから館の活用計画等も含めた南関版コンパクトシティ構想も、策定委員会等で検討を進めておりますので、具体的な構想ができ次第、皆様方にお知らせしたいと考えております。

定住促進を目的としたグリーンヒル二城の分譲については、本年1月をもって、16区画のすべてが分譲済みとなりました。

改めて、情報提供やご協力をいただきました皆様にお礼を申し上げる次第であります。

今後は、民間事業者との連携も含めた空き家の活用や住宅地の開発なども検討していく必要があると考えておりますので、皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。

住んでよかったプロジェクト推進事業につきましては、令和2年度までが第2期の期間となっておりますので、事業の推進とともに、第3期計画の策定に向けての検討を進めて参ります。

また、10月15日(木)・16日(金)は、「全国過疎問題シンポジウム2020inくまもと」が開催され、16日(金)は、県内4か所で優良事例を発表するための分科会が行われることとなっており、その1か所に南関町が選定されております。

南関町の特色ある取り組みを全国の皆様に知っていただく貴重な機会でもありますので、しっかりとした計画を練っていきたいと考えております。

次に、税務住民課関係では、自主財源の根幹となる町税の確保を図るため、申告、納税の啓発を強化するとともに、税の公平性の観点から滞納者に対しての実態調査の実施、捜査・差押えの強化及び県職員や玉名郡4町税務職員による併任徴収を行い、併せて合同公売会、不動産公売会、インターネット公売等を開催し、滞納者への更なる徴収強化により収納率向上に努めます。

町の環境美化に向けては、「町内一斉クリーン作戦」や「みんなの川と海づくりデー」が定着し、清潔で美しいまちづくりを目指して住民主体による美化活動が着実に実施されており、河川水援隊による河川パトロールや不法投棄監視員による地域パトロールを強化し、行政と地域住民が一体となって更なる環境美化に努めます。

二酸化炭素排出抑制事業として取り組んでいる廃食油を回収してバイオディーゼルエンジンの燃料として利用する賢い選択(クールチョイス)普及啓発活動も着々と成果が上がっており、現在4,500リットル程の回収実績となり、地球温暖化防止に向けて一層の取組を推進します。

和水町との2町で運営しているせきすい斎苑については、令和2年度に大規模改修工事を発注し、令和3年4月のリニューアルオープンに向けて事業を進めて参ります。

また、住民の皆様の利便性の向上を図るため、マイナンバーカードの申請受付に力を入れることとしており、窓口で写真撮影を行い、その場

で申請書の作成ができるようにしたいと思います。

次に、福祉課関係では、「高齢者が安心して暮らせる環境の整備」として、「南関町地域福祉計画」に基づく、各種施策に取り組むとともに、高齢者や・障がい者等が安心して暮らせる支援体制の充実と環境の整備を図ります。

「地域における子育て支援の充実」としては、「南関町子ども・子育て支援事業計画」に基づく各種施策に取り組み、安心して子育てができる支援体制の充実と環境の整備を図ります。

「介護保険制度の充実と介護予防事業の推進」では、総合事業の推進と地域包括支援センターを核とした地域包括ケア体制の充実・強化及び元気づくりシステムをはじめとした介護予防事業の強化を図ります。

「医療の適正化と健康づくりの推進」については、保健事業の充実を含め、疾病の早期発見、治療に繋がる各種検診の受診勧奨等による医療費の適正化と健康づくりの推進を図ります。

次に、経済課関係では、本町の基幹産業である農業は、就農者の高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加など、依然として厳しい状況にありますが、ここ数年は、「南関町がまだす隊」への新規加入者が増加したことや、「農事組合法人 よなだ」が設立されたことなど、今後の活躍に大きな期待をしているところであります。

農政の中心としては、町内の 18 地区を対象地区として引き続き圃場整備を推進して参りますが、令和 2 年の 6 月頃には、上長田地区 16 ha が農業競争力強化農地整備事業として事業の決定がされる見込みであります。

その後は、日明・田原地区 26 ha、久重南地区 6.8 ha への取り組みを進めていくとともに、農地の集約や営農組織の設立に繋げ、コスト削減を図りながら、担い手農家の確保、農業所得の向上に努めて参りたいと考えております。

喫緊の課題となっている有害鳥獣対策につきましては、地域ぐるみでの取り組みが重要であり、「えづけ S T O P 対策事業」を「農事組合法人 よなだ」で実施しているところであり、新たな団体・地域等での検討も必要であると思っております。

また、必要とされる全ての駆除委託や防護柵の設置補助等を行いながら、駆除のための新たな担い手の確保・育成を図って参ります。

一 昨年 3 月末に完成しました加工品開発センターは、令和元年度は 80 以上の一般団体、600 名ほどのふるさと応援団の会員に利用いただいております。現在、24 品目が商品化され、既に店頭でも販売されるとともに、

ふるさと納税の返礼品として幅広く活用されているところであります。

今後も、多くの関係者に利用していただき、新たな加工品の開発・販路開拓により、所得の向上及び人材の育成に努めるとともに、六次産業化の推進を図ります。

次に、建設課関係では、まず、道路改良工事の計画は、庁舎等建設にも関係する町道田町～堀池園線をはじめ、草村～高久野線、小原～馬立線、米田～大場線など7路線の改良・舗装工事行うこととしております。

住宅関連では、小原団地の外壁改修工事（2棟）を、定住促進住宅は、ユニットバス化工事（20戸）を計画しております。

また、令和元年発生災害である公共災7件、農災30件は、3月末までに契約し、繰越し事業として令和2年度内の早期復旧に努めます。

鬼王トンネルの坑口斜面对策工事については、令和2年度に用地取得を進め、令和3年度からの補修工事を計画しております。

県負担金事業としては、単県道路改良事業として久重地区を、急傾斜地崩壊対策事業として北開地区を整備し、このほかにも国・県道の歩道整備や改良事業に取り組む計画であります。

水道事業関係では、河川環境の保全を目指し、下水道・浄化槽の加入促進を図るとともに、令和3年度からの下水道の企業会計移行へ向けたシステム構築を図ります。

最後に、教育課関係では、文科省の「GIGAスクール構想」の下でのICT環境整備とともに、令和元年度で実施した「業務改善加速事業」の充実・発展への取り組みを推進します。

幼児英語教育事業については、開始より3年が経過しましたが、グローバル社会の進展の中で、英語の重要性が益々高まっており、幼児英語教育から、小中学校の英語教育への一貫した指導システムの構築に向けて、各段階での滑らかな接続という視点からの取り組みの充実を図って参ります。

コミュニティ・スクールの推進としては、学校応援団活動とコミュニティ・スクールを繋ぐ取組（地域・学校協働活動）の更なる充実に努めます。

北原白秋の生家（旧石井邸）の保存整備については、県文化課との協議の上、具体的な取り組みの方向性が見えてきたため、令和2年度は、建物の耐震調査を始め、業務の優先順位をつけ、計画的な取り組みを加速させることとしております。

各課の計画のほかにも、地域住民の皆様の声を反映できる開かれた行政運営の推進のため、皆様方のご意見やご要望を伺う地域懇談会を毎年開催しておりますが、新年度も引き続き開催するとともに、町政に対する理解を深めていただくための「南関町協働のまちづくり出前講座」についても、広く周知し積極的に計画していきたいと思います。

以上、申し上げてきましたが、これらの事業を推進していくには財政基盤の確立が最重要課題であります。

これまで以上に行財政改革を進め、徹底的に無駄をなくし、あらゆる経費の縮減を図るとともに、事業の推進につきましては、それぞれの事業の重要性・必要性をかんがみ、優先順位をつけながら着実に事業を展開していく考えでございます。

最後に、町職員の意識改革についてですが、職員一人ひとりが、地域住民の皆様の見解や要望を理解し対応できるよう育成に努めるとともに、来庁者に対しては、私も含めて笑顔での挨拶が最も重要なことを引き続き確認して参りたいと考えています。

このような重点施策を中心に、総合振興計画の基本構想・基本目標でもある「産み育てやすい環境の整備」「住む場所と働く場所の確保」「高齢者や障がいがある方も安心して暮らせる環境の整備」を町づくりの3本の柱として、地域住民の皆様方に本当に住んでよかったと思っただけのような誇れる協働のまちづくりに取り組んで参る所存でございます。

今後とも、なお一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。令和2年度町政運営の施政方針とさせていただきます。

令和2年3月9日

南関町長 佐藤 安彦